

千年の森便り No.114 2013.3.21

ちば千年の森をつくる会 事務局長 伊藤道男 sennennomori@hotmail.co.jp

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

活動の記録

3月17日(日) 晴

参加は新井孝男、新井通子、石松夫妻、伊藤、鶴沢、苅米、久我夫妻、坂本文雄、高橋夫妻、福島、松田、真鍋、ミ・ルイン、村野、森、山口；会員19名にヒメコマツグループの遠藤さん、小森谷さんと小3の汐里(しおり)さん、南会津「木こりの森の会」ご一行6名を迎え28名。

マメザクラが咲き始めた小春日和の豊英島でニホンジカ調査、ヒメコマツ調査、シイタケやヒラタケの植菌などを楽しみました。清和地方にも春が来て車道沿いは河津桜が満開でした。(真鍋)



春の豊英島に「木こりの森の会」メンバーを迎え

○ニホンジカ生息状況調査

「木こりの森の会」メンバー6名、ヒメコマツグループ3名とともに、総勢28名でいつものように7コースに分かれて島内を一斉に踏査し、ニホンジカの生息状況調査を行いました。調査時間は10:00~10:40です。今回は、2コースでニホンジカ1頭が確認されました。場所は、禁断の岬の南側斜面です。痕跡としては、殆どのコースでフンが確認されました。

2月の活動日に4頭が確認されたことと合わせ、林床植生の少ない冬でもニホンジカが島を利用していることがわかりました。

ニホンジカ以外では、調査中に、ニホンリス1(禁断の岬、初記録)、ヤマカガシ1、アオダイショウ1、また、調査終了後に、ヤマアカガエル1、カナヘビ1が確認されました。(福島記)



島内一斉踏査第2コース

○ヒメコマツ成長量調査



傾斜面のヒメコマツ生長調査

会のご協力を頂き、年に1度のヒメコマツ成長量調査を実施しました。調査結果は右の通りです。平坦地では、樹高の平均成長量が23.5cmでした。昨年の平均成長量11.4cmと比較して大きく成長していたのは、ツリーシェルターの影響で衰弱していた個体が回復したこと、2年前に補植した個体が活着し、順調に成長したことによるのではないかと考えられます。傾斜地では、樹高の平均成長量が7.9cmであり、平坦地よりも小さいのですが、シカ防護柵を設置していない個体も食害された形跡はなく、健全でした。(森林研究所 小森谷研究員)

会のご協力を頂き、年に1度のヒメコマツ成長量調査を実施しました。

調査結果は右の通りです。

平坦地では、樹高の平均成長量が23.5cmでした。昨年の平均成長量11.4cmと比較して大きく成長していたのは、

ツリーシェルターの影響で衰弱していた個体が回復したこと、2年前に補植

平坦地(植栽試験地A)

本数:26本

平均根元径:15.3mm

平均樹高:94.3cm

根元径の平均成長量:1.8mm

樹高の平均成長量:23.5cm

傾斜地(植栽試験地B)

本数:7本

平均根元径:11.9mm

平均樹高:61.7cm

根元径の平均成長量:0.8mm

樹高の平均成長量:7.9cm

○シイタケ・ヒラタケの植菌

暖かな春の日差しの中、先月伐木、玉切りしたホダ木に、椎茸菌とヒラタケ菌を植菌しました。南会津の「木こりの森の会」メンバーも含め、大勢の参加者でドリルで穴を開ける人、木槌で駒を打ち込む人、運搬して日陰に仮伏せする人、手際良い作業で短時間の内に終了することが出来ました。本伏せは4月21日です。

特に、中国からの留学生のミーさんはドリルでの穴あけに熱心に励んでいました。数量は、シイタケ(森290)約1,500駒、ホダ木約50本、ヒラタケ、1,000駒、ホダ木約40本です。(久我哲也)



電気ドリルで開孔する人



菌駒を打ち込む人



日陰に仮伏せ



シイタケ収穫はネットの裾から

○シイタケ収穫

シイタケの採集を高橋(洋)さんと久我(則)で実施しました。収量は11Kg、小分けをして21個袋に入れて、皆さんに持ち帰って頂きました。ホコラ山手前の斜面に設置されている09-10年植菌ホダ木が倒れていたのので、設置し直しました。今回は、天地返しをしたので発芽が良くなるのを期待しています。(久我則子)

○植物観察と植生保護

森のあちこちにマメザクラ(C)、ウグイスカグラ(D)、ヤブツバキ、アセビなど開花、禁断の岬斜面にはヒメフタバラン(A)が10数株芽を出し内2株が咲き始めていました。北側斜面下の水際にはスハマソウ(C)が数株開花していました。また植生保護柵内にはシュンランが咲いていました。「千年の森便り」No.1によると、03年の3月19日のシイタケ植菌時、作業に支障があるほど林床に沢山のシュンランがあったとの記載がありますが、10年後の今、シュンランは植生保護柵外では殆ど見られなくなりました。(真鍋)



湖岸急斜面のスハマソウを

湖水に入り撮影中の坂本さん



ウグイスカグラ 3/17 坂本



ヒメフタバラン 3/17 福島



シュンラン 3/17 ミルイン



スハマソウ 3/17 坂本

新井通子さんが見つけたコナラ更新林のツルリンドウ、祠山のミヤマウズラとツルアリドウシの群落を、シカやウサギに食べられないよう亀甲金網で保護しました。祠山には石と木の根が多く、難作業でした。(真鍋)

○野鳥観察記録

トビ6 カワウ6 ヤマガラ5+囀り シジュウカラ1+声 コゲラ1+声 コジュケイ声 ウグイス囀り カルガモ2 ハシブトガラス声 ハシボソガラス声 ヒヨドリ声 エナガ2+声 メジロ声

シカ調査と並行して野鳥観察をしてもらった結果を合わせて13種でした。毎回記録されるメジロが見当たらず連続記録が途切れる瀬戸際でしたが、鳥を離れる最後の瞬間に声を聞くことが出来ました。(坂本文雄)



ヤマガラ 3/17 福島

○センサーカメラの動物たち

センサーカメラにテン（千葉県保護上重要な野生生物：ランクD）が写っていました。テンは2月19日雪の夜も島で獲物を探していたようです。シカもウサギもタヌキ等も、夜行性で夜の場面が多く映っています。（坂本文雄）



テン 2/19 20:52 センサーカメラ

○カブトムシの幼虫

落ち葉堆肥で、久しぶりにカブトムシの幼虫をたくさん見ました。カブトムシの幼虫は5月から6月が羽化時期とのことだが、羽化していなくなるのか、タンパク質として動物に食べられているのか、気になるところです。（伊藤）

○南会津「木こりの森の会」と交流

当会の鶴沢会員が参加している福島県南会津の「木こりの森の会」（32畝の広葉樹林を維持管理）のメンバー6人の来訪があり、豊英島をご案内したり、シイタケの駒打ちに参加していただき、交流を深めました。

前日、大山千枚田などを見学後鴨川に宿泊して、房総の春とその味覚を楽しんだとのこと、雪が数メートル残っている南会津との違いに感嘆しきりでした。

もっとも会員の大半は首都圏在住とのことで、ヘラブナ釣りで三嶋ダムや豊英ダムには足繁く通った方や、四街道にお住まいの方もいらして、こちらにもびっくりしました。活動フィールドは、沢沿いに小一時間歩く場所で、作業日には手作りの山小屋に泊まりがけで薪ストーブを囲んでの一杯が楽しみとのこと、だいぶ本格化とお見受けしました。皆さん作業には慣れた様子で、会員よりお客様の方が一生懸命働いているのではと思う場面もあり、申し訳ないやら有り難いやらでした。



林床植生を熱心に観察中のご一行

「木こりの森の会」の皆様、ありがとうございました。機会がありましたらお訪ねしたいと思います。体力が持つでしょうか。木こりの森の会の詳細は、下記ホームページを参照してください。（伊藤）

<http://www.lc-ogura.co.jp/morinokai>

お知らせ

○4月の定例活動日

4月の定例活動日は、4月21日（日）です。県民の森駐車場9時30分集合。

活動内容は、総会の開催、シイタケほだ木の本伏せ、植物調査、食害調査、島内の散策などです。

総会で一年間の方針を話し合った後は、シイタケ本伏せを済ませて、春真っ盛りの豊英島をそれぞれのペースでゆっくり散策したいと思います。どうぞお出かけください。

平成25年度年次総会のご案内

日 時；4月21日（日）午前10時～

場 所；豊英島

議 題；24年度活動&会計報告、25年度活動計画&予算、役員改選。

欠席の方は事務局宛てメール又はハガキで委任状を提出下さい。

○4月の臨時活動日

4月の定例活動日には花期を終えるスミレ類、ヒメフタバランやツクシショウジョウバカマ等の観察撮影のため、3月末～4月上旬に植物調査の臨時活動を実施します。日程は開花状況などみて3月下旬にお知らせします。